

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	1-3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	子ども政策局 子ども未来課	徳永 憲達
施策名	3 安心して子育てできる環境づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	① 県民総ぐるみの子育て支援	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額	15,789
	② 子どもを取り巻くインターネット・電子メディア等環境対策の推進			660
	③ 保育施設等の安全対策の推進			7,668

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)			(取組項目)							
<p>①子どもの笑顔があふれ、地域のしっかりとした絆の中で子どもを育ていけるように、県民総ぐるみで「ココロねっこ運動」に取り組みます。</p> <p>②SNSやオンラインゲームなどの長時間利用による弊害やネットトラブルなどから子どもを守り健全に育てていくために、学校・家庭・地域が一体となり、その対策に取り組みます。</p> <p>③乳幼児が一日の大半を過ごす生活・学習の場である保育施設等の安全を確保するため、周辺道路等の交通安全対策の推進、新たな感染症に対応した保健衛生対策の強化など、幼稚園・保育所・認定こども園の安全対策を推進します。</p>			<p>i) 家庭の日の普及・啓発(事業群①)</p> <p>ii) 子どもの健やかな育ちを支えるためのココロねっこ運動の更なる推進(展開)(事業群①)</p> <p>iii) 長崎っ子のためのメディア環境協議会の取組強化(事業群②)</p> <p>iv) メディア安全指導員を養成し、指導員による講習会を実施(事業群②)</p> <p>v) ネット・メディアの遊びとしての使用ルール「ながさき基準」の普及・啓発(事業群②)</p> <p>vi) 携帯電話を所持する児童生徒に対するフィルタリング利用の啓発(事業群②)</p> <p>vii) 有害図書類の販売制限、立入調査(事業群②)</p> <p>viii) 未就学児の園外活動時の安全対策の推進(事業群③)</p> <p>ix) 保育施設等における保健衛生対策の強化(事業群③)</p> <p>x) 未耐震化施設への耐震化に向けた働きかけ(事業群③)</p>							
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	①家庭の日ワークショップの参加者数	目標値①	/	400人	400人	400人	400人	400人	400人 (R7)	
		実績値②	368人 (R元)	/	/	/	/	/	進捗状況	
		達成率 ②/①	/	/	/	/	/	/	—	
	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	
	②携帯電話所持の児童生徒のフィルタリング利用率	目標値①	/	67%	—	75%	—	80%	80% (R7)	
		実績値②	63% (R元)	/	/	/	/	/	進捗状況	
		達成率 ②/①	/	/	/	/	/	/	—	
	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	
③私立幼稚園・私立保育所・私立幼保連携型認定こども園の耐震化率	目標値①	/	93%	95%	97%	100%	100%	100% (R7)		
	実績値②	89% (R元)	/	/	/	/	/	進捗状況		
	達成率 ②/①	/	/	/	/	/	/	—		

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和2年度事業の実施状況 (令和3年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和2年度事業の成果等	
				R元実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R元目標	R元実績	達成率		
				R2実績					R2目標	R2実績			
				R3計画	事業実施の根拠法令条項				R3目標	R3実績			
事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象									
所管課(室)名													
取組項目 i ii	○	1	ココロねっこ運動推進事業費	16,097	15,877	5,568	ココロねっこ指導員・推進員による「ココロねっこ運動」や「家庭の日」の啓発及び運動の輪の拡大を図った。また、長崎県青少年育成県民会議と連携して、ココロねっこ広場などのイベントの場を設定し、「家庭の日」の啓発活動を行った。	【活動指標】	6,000	5,961	99%	●事業の成果 ・様々な場面において登録の呼びかけを行い、「ココロねっこ運動」の啓発や運動の輪の拡大を図れた。	
				15,789	15,679	5,477		R元2:ココロねっこ運動登録団体数(件)	6,000	6,073	101%		
				15,950	15,830	5,497		R3-:家庭の日ワークショップの参加者数(人)	400				
			H13-			—		—	—	【成果指標】	197		194
こども未来課			—	—	—	一般県民、関係団体	R元2:刑法犯少年検挙数(犯罪少年と触法少年の合計人数)(人)	194	141	137%			
取組項目 iii iv v vi	○	2	長崎っ子の未来をひろくメディア事業				乳幼児の保育・教育関係者へ向けて乳幼児期とメディアについての研修会を行い、受講者から同僚・保護者等へ情報発信してもらうことで、メディアとのよりよい付き合い方についての周知・啓発を行う。また、子どもや保護者のメディアリテラシーの向上や、ネットの有害情報から子どもを守るため、メディア安全指導員を学校や公民館などに派遣する。	【活動指標】				—	
				2,111	1,578	2,356		幼児教育関係者研修会の受講者数(人)	120				
			(R3新規)R3-5			—			【成果指標】				
こども未来課			—	—	—	一般市民・関係団体	幼児教育関係者研修会受講者による普及活動の実施率(%)	100					
取組項目 vii	○	3	非行防止・環境浄化対策費	516	516	7,954	少年補導センター等の補導活動等を支援し、少年非行を未然に防止した。 少年保護育成審議会への諮問を経て有害図書類を指定し、告示等により広く県民に周知するとともに、事業者等に通知することで、少年への有害図書類の販売等の防止を図るほか、立入調査員に対し、適宜研修や資料の提供を行うことにより、より実効性のある立入調査を実施することで、区分陳列の徹底を図った。	【活動指標】	数値目標なし	22	—	●事業の成果 ・立入調査員による図書類販売店舗に対する立入りを実施し、有害図書の区分陳列が適切でない店舗に対しては指導を行い、区分陳列を改善させ、販売店等の健全育成に対する意識の向上につながった。	
				660	660	7,824		有害図書類の指定(冊)	数値目標なし	10	—		
				1,165	1,165	7,853		【成果指標】	100	95	95%		
			H6-			—			有害図書類の区分陳列度(%)	100	95		95%
こども未来課			—	—	—	少年補導委員、立入調査員(県、市町)、図書販売業者等		100					
取組項目 viii ix x	○	4	幼稚園耐震化緊急整備事業費	3,539	39	1,591	長崎県私立幼稚園耐震補強工事費補助金を活用し、耐震補強工事又は耐震化のための改築工事費の助成を行うもの。(県継足補助1/6又は1/3) 私立学校施設整備費補助金(私立幼稚園施設整備費)により文科省からの補助を受ける事業者で、工事内容が「耐震補強」の場合、本事業の対象となる。 令和2年度については、上記補助金の交付を受けた事業者が2園(2件)であった。	【活動指標】	6	4	66%	●事業の成果 ・令和2年度においては、耐震補強工事への補助は2件あり、建築物や非構造物に対する耐震化が図られた。	
				7,668	68	1,565		幼稚園補強工事実施棟数(棟)	6	2	33%		
				20,468	68	1,571		【成果指標】	90.1	81.7	90%		
				H21-				—					95
			こども未来課			—	—	—	私立幼稚園	幼稚園耐震化率(%)	95		

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 家庭の日の普及・啓発</p> <p>ii 子どもの健やかな育ちを支えるためのココロねっこ運動の更なる推進(展開)</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・ココロねっこ運動巡回説明時や家庭教育講座時等に「家庭の日」の認知度の調査をした結果は、H30年度:73%、R元年度:64%、R2年度:75%であり、ココロねっこ運動強調月間における小中学校への調査結果においても学校便りやHPなどを利用して「家庭の日」の周知を図った学校がR2:84%と一定の成果が見られた。また、ココロねっこ運動強調月間における小中学校への調査結果において、「あいさつ・声かけ運動等のココロねっこ運動の実践をした学校」の割合がH30年度・R元年度は100%、R2年度は91%であり、学校におけるココロねっこ運動の認知度や実践の割合も高い。「家庭の日」設定の趣旨を理解していただき、家族や地域の大切さ等を再認識する日となるよう啓発を進めるとともに、「ココロねっこ運動」の趣旨を地域や企業等も含めた地域に浸透させることが課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・引き続き関係各課および関係団体と連携し、既に地域で青少年健全育成活動を行っている団体への協力を積極的に呼びかけ、「家庭の日」「ココロねっこ運動」の趣旨について広報・啓発活動を行っていく。</p>
<p>iii 長崎っ子のためのメディア環境協議会の取組強化</p> <p>iv メディア安全指導員を養成し、指導員による講習会を実施</p> <p>v ネット・メディアの遊びとしての使用ルール「ながさき基準」の普及・啓発</p> <p>vi 携帯電話を所持する児童生徒に対するフィルタリング利用の啓発</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・長崎っ子のためのメディア環境協議会において、ネット・メディアの遊びとしての使用ルール「ながさき基準」の推進及び子どもの成長・発達を考えたネット対策地域スタートアップ事業について協議し、活動につなげることができた。また、R2年度は新規17名のメディア安全指導員を養成し、県内のメディア安全指導員は176名となった。メディア安全指導員の派遣はR2年度184回で18,574人の児童生徒・保護者・教職員・地域住民に対し、家庭でのルール作りにおける「ながさき基準」の啓発やフィルタリングの有効性、必要性についてなど、メディアとの付き合い方考える機会を作ることができた。しかし、フィルタリングの利用率は、少しずつ減少している状況である。インターネットの危険性やインターネット上の有害情報から子どもを守るため、携帯電話等のフィルタリング機能の活用が重要であることの周知がまだ不十分だと考えられる。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・今後も保育・教育関係機関と連携を図り、園や学校でメディア安全指導員の派遣による講習会の機会を増やすと共に、メディア安全指導員による講習会やフィルタリング等実践講座・幼児教育関係者研修会等でインターネットの危険性やインターネット上の有害情報から子どもを守るため、携帯電話等のフィルタリング機能の活用が重要であることを周知啓発していく。</p>
<p>vii 有害図書類の販売制限、立入調査</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>もともと18禁として販売されている図書類の区分陳列は適正になされているが、長崎県少年保護育成条例の包括指定に該当するような有害図書類の区分陳列については不十分な面が見受けられ、包括指定の周知不足があると考えられる。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>市町の立入調査員自体の条例に対する知識を向上させると共に、定期的に立入調査を実施して包括指定の該当基準等や区分陳列の必要性について周知し、区分陳列の徹底を図る。</p>
<p>viii 未就学児の園外活動時の安全対策の推進</p> <p>ix 保育施設等における保健衛生対策の強化</p> <p>x 未耐震化施設への耐震化に向けた働きかけ</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・新型コロナウイルス感染症対策については、国の補助金を活用した備品購入やかかり増し経費の補助等により、施設の安全対策は強化されているが、感染拡大が進む中、職員や園児が感染する事例が増えてきており、更なる対策の強化が必要となっている。</p> <p>・重大事故や園活動における事故防止等の注意喚起を徹底するとともに、施設の耐震化については補助制度の周知など耐震化の働きかけを行っているが、耐震化については、耐震診断や耐震補強工事等の費用が高額であることから、着手できていない園がある状況である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・国における新型コロナウイルス感染症に関する指針策定や、抗原検査キット配布等の動きを注視しながら市町と連携し対策を図っていく。</p> <p>・引き続き事故防止の注意喚起を徹底するとともに、耐震化については、施設設置者に対し認定こども園への移行を含めた補助事業の活用などを促し、耐震化のための改修へと繋げていく。</p>

4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容		令和4年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和3年度の新たな取組は「R3新規」等と、見直しがない場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i ii	○	1	ココロねっこ運動推進事業費	ココロねっこ運動の登録については、教育関係団体のみならず、県警や関係各課と連携し、すでに青少年の健全育成活動を行っている団体への登録を推進していく。また、11月のココロねっこ強調月間には、他課と連携し「家庭の日」の周知・啓発を図る。	②	・ココロねっこ指導員による県内各地での「ココロねっこ運動巡回説明」の実施を一層推進し、市町におけるココロねっこ運動の充実を図るとともに、ココロねっこ運動の登録について、教育関係団体のみならず、企業や個人での登録を推進していく。また、教育委員会や関係団体と連携し、「家庭の日」の理解を深め実践に結びつくように、周知・啓発を図っていく。	改善
			H13-				
			こども未来課				
取組項目 iii iv v vi	○	2	長崎っ子の未来をひらくメディア事業	R3新規	②	・メディア講習会において、参加者のニーズに応じ、かつメディアに係る最新の情報に基づいた内容を提供できるように、引き続きメディア安全指導員の専門性の向上を図る。 ・メディア講習会等を通じ、フィルタリングの有効性・必要性について保護者や児童生徒及び携帯電話販売店への理解を深め、利用率の向上を図る。 ・児童生徒支援課や義務教育課等の教育関係機関との連携を図り、児童生徒のSNS等による被害の減少に努める。	改善
			(R3新規)R3-5				
			こども未来課				
取組項目 vii	○	3	非行防止・環境浄化対策費	市町と連携して書店やコンビニエンスストア、大型量販店等の立入調査を実施し、有害図書類や有害がん具類の陳列販売方法等の指導を行い、有害環境の浄化を図る。	―	引き続き、有害図書類の指定・周知及び販売店への区分陳列に関する指導を徹底し、少年の健全な育成を図る。	現状維持
			H6-				
			こども未来課				
取組項目 viii ix x	○	4	幼稚園耐震化緊急整備事業費	監査等で訪問した際に、耐震化に向けた具体的な計画や財務状況等のヒアリングを行い、補助事業の活用等も含め耐震化を促す。	―	耐震化未実施の施設に対し、私学業務会計指導検査で施設を訪問する際等に、引き続き補助事業の内容を説明し活用を促すとともに、認定こども園への移行を含め、安全な施設への改修等を促す。	現状維持
			H21-				
			こども未来課				

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点